

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス：gvnc@nifty.com

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/gvnc>

— 謹 賀 新 年 —

● 主な活動の記録 (10月～12月)

10月3日(土) 「奈良阪集いの森」 —先駆的先導的森林づくりボランティア活動支援事業—

今回は、奈良市地球温暖化防止連絡協議会と共催で、「里山再生と、里山を楽しむ集い」として宙塾の子ども、先生10名を含む17名で開催。まづ、森林環境教育として、温暖化・森林・竹等についての説明を聞いたあと、竹林に入り、ノコギリを使っての竹の伐採作業を体験。続いて自然観察を兼ねての栗拾い。イガに注意しながら足に挟んで竹ぐしでほじくり出した。収穫は大小取混ぜて思いの外たくさんだった。昼食後ゆがいて早速味わった。午後は午前中に切り出した竹を使っての工作。皿・コップ・花瓶・小物入れ等ノコギリとナタで各自数個の作品を作り上げた。

竹切り作業



栗拾い



栗の選別



竹細工



10月10日(土) 「奈良阪集いの森」 —先駆的先導的森林づくりボランティア活動支援事業—

先週に続いてのイベント開催。今回は上記も定例活動と重なったため、午後の半日で当クラブより3名を指導員として派遣。近隣の奈保山町自治会から大人・子供合わせ11名が参加。(予定していた他のグループは都合により、急遽参加出来なくなった。) まず、森林環境教育の一環として、当事業の趣旨・活動の意義、温暖化防止と森林の役割等説明。ついで竹を伐採した跡地に、ムササビガ・カキ・ミツバツツジ・ムササビガ合わせ33本を植樹。2～3名ずつのグループに分かれ、それぞれが協力しあって非常に手際よく作業を進め思いの外早く作業を完了後、子ども達が楽しみにしていたクリひろいに移った。山グリと里グリ二手に分かれトゲに注意しながら足で殻を開いて竹グシを使って大小多くをほじくりだした。植えたばかりのカキからもいだカキとで袋は大きくふくらんだ。最後に竹切り作業を体験、竹細工の材料として二三本えらんで持帰った。イベント中は常に世代間交流を心がけ作業を進めた。

10月17日(土) 「森について学ぼう」 —「緑の募金」中央事業—

王寺町教育委員会主催で、町営菩提キャンプ場で開催され、親子づれの町民30名弱が参加、当クラブよりは10名が指導にあたった。半分はまず場内遊歩道を自然観察を兼ねた森のハイキング、残り半分は間伐作業を約一時間、このあと入替わって体験。間伐は30年近くのヒノキ林内で最初に木のまわりの雑草・雑木を切払い足場を確保してノコギリを使って随時交替しながら、一本を切倒し、玉切り・枝払い・皮むきを行った。ハイキングでは樹木の説明を聞き、葉の形状の違いを見たり、ドングリや木の実を興味深く観察。即席で木の実の人形を作ってみせると更に関心が高まった。昼食では、味噌汁の具に野菜を刻んだり、またボランテ

けでお手伝いのご婦人方が予め炊き上げたご飯でおにぎりを作った。最後に野焼きバリクアーンづくり。練り上げた生地を太い竹にぬりつけ炭火にかざし焦げ目を入れ、またぬりつけ/焼きを何度も繰り返して太くしていた。焼き上がりを早速、口に頬張り美味しい！ 途中雨に降られたが無事に予定を全てこなし解散。

よく説明を聞いて



堂に入った構え



枝払い作業



もっと太くするぞ



10月24日（土） 定例活動 NPO 設立総会

午前中は参加 30 数名が、奈良県森林ボランティア連絡協議会が主催する「緑の募金」特定事業の一環として竹林の伐採を国道 308 号線沿いで行った。午後は予めより準備を進めてきた特定非営利活動法人”森づくり奈良クラブ”の設立総会を開催。発起人の会合で検討を重ねてきた案に基づき、事務局より、設立の趣旨、定款、事業計画、収支予算等を説明、それぞれに質疑応答の上、全員の挙手で承認。その他総会承認が必要な全ての事項も可決。ついで役員並びに設立代表者も原案通り承認され、上田代表より今後とも会員の一層の協力の要請を兼ねた挨拶があり総会終了。（正式設立は来年 2 月の予定）この後午前中に採っておいた柿をつるし柿にするため、仕分け、皮むき、なわにつるしを手分けして行った。大量の収穫であったため、余った柿は皆で分けそれぞれ持帰った。

10月31日～11月1日 紀伊半島三県森林ボランティア交流大会

9 回目となる本年は当番県である三重県の菰野町尾高キャンプ場を会場に、「安全な森づくり」をテーマに開催された。31 日昼、三県より約 60 名が集い、同町で活動する「まんまる座」による勇壮な和太鼓の響きで開幕を告げ、池田大会委員長の開会宣言、県・町来賓の歓迎の挨拶で開会式を終了。「安全な森づくりとは」と題して、森づくり安全技術・技能全国推進協会常務理事石垣氏による記念講演、続いて安全技術・技能研修体験の第一段として、同講師によるチェーンの正しい目立て・チェーンワークの基礎の指導を受けながらの実習。夕食は同キャンプ場でバーベキュー。肉・魚・野菜をふんだんにに食しながら歓談。宿舍の四日市市少年自然の家へ移動後、更に遅くまで和気藹々の交流会となった。翌 1 日、再度同キャンプ場へ。記念撮影後、更に奥の 30 年生ヒキ林に入り間伐実習。石垣講師による安全な抜倒作業のためのロープワーク、チェーンの使い方と数々のチェックポイントの説明を受け、5 班に分かれ午前中実習に励んだ。昼食後、閉会式を終え解散。今回で各県 3 巡目が終了するに際し、予め実行委員会で話し合い結果、今後とも継続希望が多く、次回当番県となる奈良県が横断幕の引継ぎを受けた。

目立て実習



チェーンワーク



ロープワーク



11月5日(木) 森林環境教育 王寺南小学校

同校5年生22名が参加、王寺町菅菩提キャンプ場で実施され、当クラブ員7名が指導に当たった。自然観察は、森林の働きについての説明を聞き、木々を観察しながら同キャンプ場内遊歩道を巡った。間伐体験では、30年生ヒノキを抜倒するにあたり、その目的・意義、作業の手順・注意事項等を聞いた後、皆で話合っって倒す木とその方向を決めてから、かわるがわるノコギリを入れていった。抜倒後、枝払い・皮むきを体験。最後に工作で名札づくりをするため輪切りにしたものを各自学校へ持帰った。

11月7日(土) 高取山共生の森整備・保全事業 「緑の募金」中央事業

新日本石油(株)の社員とその家族23名が、高取山国有林「ENEOSの森」で活動されるに当たり指導者として8名が参加。午前中は、自然林再生のための林内整備作業と平行して、看板の設置、アガモの補植、フェンダー体験、枯損木の処理と子供を対象にした巣箱架け、クラフトを行った。午後は隣接する植栽地で、紅葉したイハヒシジを愛でながら、下草の全面刈りを行った。澄渡った秋晴れの下、体を動かし日頃のストレスも幾ばくか解消した模様。

11月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中は団体参加の大伸社の社員10数名を含む参加者30数名が、奈良県森林ボランティア連絡協議会主催の竹の伐採作業を行い、太目の竹は竹炭用材として一人一人かついでドラム缶窯近くまで持帰った。一方当クラブとしては、奈良県立教育研究所主催の教員6名の森林体験研修として、数名が花炭づくりの指導にあたった。今回は菓子缶を利用して、松ボックリ、木々の輪切り、果菜類等を材料にした。きれいな焼き上がりに感激。午後からは、ならまちセンターで奈良県主催の「奈良の元気な森林づくりシンポジウム」に参加するため全ての活動を午前中で切り上げた。この日遠路阿倍野から、女性の新規参加があった。

11月17日(火) 森林環境教育 田原本小学校

生憎の雨で寒い日であったが、同校5年生約110名が元気に参加し、矢田山遊びの森で実施され、当クラブ員が指導にあたった。まず「冬の樹木」と題しての森の話を聞いたあと、予定していた森林作業体験としての間伐は取止め、予め伐採しておいた木の玉切りや、菓子缶を使ってのたき火による花炭づくり、ドラム缶窯見学と、クヌギの殻を使った小動物づくり等のクラフトを半数づつ交互に行った。

11月19日(木) 森林環境教育 片桐小学校

同校5年生70名強が矢田山遊びの森で本年5月に選定した「私の木」に会いに来てくれました。3班に分かれ、それぞれが前回と同じコースを散策しながら、季節の違いによる木々の変化を観察。途中「私の木」の樹名板に書かれたメンバーは、特に葉っぱの色づきや散り具合等気のついた点をノートに書き記した。道々ドングリやキノコをたくさん採取した。このあと、リトルレスト(小さな森)づくりとして、グループ毎に小さな実生の幼木を数本採取し持参した植木鉢に植え込み、草や落ち葉もアクセントとして加え、自然の恵みを感じながら学校へ持帰り、観察を兼ねて大切に育て、彼らが卒業後は後輩に申し送り大きくなるまで世話をしていく由。

11月26日(木) 森林環境教育 辰市小学校

6月に奈良市野外活動センターで森林作業体験をした同校5年生、今日は60名弱が、矢田山遊びの森で、自然に親しむことを主眼に実施され、前回同様指導にあたった。午前中は、芝生広場周辺で木々や自然の現象を観察しながらのクイズラリー、三択問題に答えながら20ポイントを一巡後、森林インストラクターでもある当クラブ員2名が二手に分かれ、答合わせを兼ねての解説を加えながら、同じコースを再度歩いた。午後は「愛の森」で、森

林を楽しむをテーマに、木から吊り下げたフラコ乗り、太いツルにつかまっのダーザンごっこや木登り等を大いに満悦した。

12月12～13日 森林ボランティアリーダー養成と山村交流 「緑と水の森林基金」公募事業
奈良県森林ボランティア連絡協議会の主催で御杖村で開催され、当クラブはじめ数団体より20数名が参加。直前に小雨に見舞われたものの研修開始時には太陽も顔を見せ、御杖村森林組合の指導のもと、森林作業におけるリーダーとしての心構え、留意点等の説明を聞きながら、間伐を実施。次いで間伐材の有効活用を目的に設立された間伐材加工センターを見学。大小不揃いの材がアツというまに一定の太さに加工されていく機械の力に圧倒。新たな商品開発の取組みも紹介された。宿舎である三季館へ場所を移し、青海森林組合長・村役場職員から同村の現状と林業の実態についての講義と同村を拠点に子どもを対象に森林ボランティアをされているみつえ切り株山崎代表の活動報告。交流を兼ねた夕食では地場の食材を使ったおいしい料理を堪能しながら遅くまで歓談。13日午前中はみつえ高原牧場、御杖神社、みつえ青少年旅行村等を見学、再び三季館に戻り暖かいしし汁をに舌鼓を打ちながらの昼食で全ての予定を終了し解散。

自動丸太製造機



錆び丸太



講義風景



12月12日(土) 学校林整備 県立北高校

同校2年生の生徒50名強と先生・育友会合せ約60名が参加しての活動の指導にあたった。グラント周辺にスギ林の整備を兼ねて、間伐・枝打ち・枝払い・玉切り又カヅメ・イハモジの植樹等の森林作業を体験。この後フェンスにからまったツルをクリスマス用切取った。森林環境学習として森林の働きと地球温暖化の説明を聞いた後、リースづくり。飾付けはスギの枝、松ぼっくり、南京ハゼの実等自然の素材を活用した。

12月26日(土) 定例活動 ”山の忘年会”

矢田山遊びの森に新入1名を含め40数名と多数が参集。午前中は「天平の森」の排水溝づくり、山の畑近辺の草刈り、間伐材の搬出と”山の忘年会”としてのモチ搗き、焼きソバづくりにと手分けしての作業。昼には、出来立ての焼きソバと黄粉をまぶした搗き立てのモチを賞味しながら、一年間を振り返りつつ歓談。午後は、炭窯近辺の落ち葉の処理、道具保管倉庫の整理、芝生広場周辺のゴミ拾いを行った。最後に今年一年間で120数回に及ぶ各種の活動が大したケガもなく無事に楽しく出来た事に感謝し、来年も又元気で皆が活動を続けられるよう願って解散。

間伐材の引出し



堂に入った杵搗き



待ち遠しい焼きソバ

